

二二九七番

もみち葉はの 過ぎかてぬ見こを 人妻ひとつまと 見みつつや  
あらむ 恋こひしきものを

二二九八番

君きみに恋こひ しなえうらぶれ 我あが居をれば 秋風あきかぜ吹ふ  
きて 月傾つきかたむきぬ

二二九九番

秋あきの夜よの 月つきかも君きみは 雲くも隠かくり しましく見みねば  
ここだ恋こひしき

二三〇〇番

九月ながつきの 有明ありあけの月夜つくよ ありつつも 君きみが来きまさば  
我あれこ恋こひめやも